

# 港 湾 技 研 資 料

TECHNICAL NOTE OF  
THE PORT AND HARBOUR RESEARCH INSTITUTE  
MINISTRY OF TRANSPORT, JAPAN

No. 233      Mar. 1976

波浪に関する拠点観測年報 (昭和49年)

高	橋	智	晴
佐	々	木	徹
金	子	大	二
副	島		郎
			毅

運輸省港湾技術研究所

# 波浪に関する拠点観測年報（昭和49年）

高橋 智 晴 \*  
佐々木 徹 也 \*\*  
金子 大二郎 \*\*  
副島 毅 \*\*\*

## 要 旨

“波浪に関する拠点観測実施要綱”（昭和43年10月、運輸省港湾局策定）にもとずき、各港湾建設局は観測記録方式のデジタル化を中心とした現地波浪観測施設の整備をはかり、港湾技術研究所は取得観測データの集中バッチ処理体制を確立して、昭和45年度より経常的な運用を開始した。北海道開発局管内においてもこれに準じた実施体制を整備し、同時に運用を開始した。

この報告は、既刊“波浪に関する拠点観測年報”（昭和45年）、（昭和46年）、（昭和47年）、（昭和48年）”に引続き、昭和49年1月1日より同年12月31日に至る1ヶ年間の観測資料を整理し、当該期間における各拠点観測の波浪統計ならびに異常波浪状況についてとりまとめた。また、巻末に各港湾建設局より執筆された管内災害報告を併載している。

波浪に関する拠点観測指定港および指定準用港は下記の19港で、端島では炭鉱が閉山の為観測を中止し、観測機械を伊王島へ移設し12月より開始した。このうちアンダーラインを附す5港は指定準用港として、5港のうち4港は、昭和48年度（波浮、浜田、那覇、中城湾）より、又小川原は昭和49年度より観測が実施されている。

第一港湾建設局：酒田港，金沢港

第二港湾建設局：八戸港，小川原，鹿島港，東京湾口，波浮港

第三港湾建設局：潮ノ岬，神戸港，浜田港

第四港湾建設局：宇部港，端島，伊王島

第五港湾建設局：田子の浦港（長周期波の観測）

沖縄総合開発事務局：那覇港，中城湾

北海道開発局：苫小牧港，留萌港，紋別港，釧路港

---

\* 水工部 海象観測研究室長

\*\* 水工部 海象観測研究室

\*\*\* 前水工部 高潮津波研究室長